

日本鉄鋼協会記事

編集委員会

第8回和文会誌分科会 開催日：11月7日。出席者：坂尾主査，ほか 28 名。

1. 24 件の論文審査報告がなされ，掲載決定 18 件，照会后掲載可 4 件，その他 2 件であった。

2. 「鉄と鋼」第 73 年第 3 号（3 月号）に論文 12 件，技術報告 4 件掲載決定した。

第8回欧文会誌分科会 開催日：11月14日。出席者：加藤主査，ほか 14 名。

1. 27 件の原稿につき審査報告がなされ，掲載可 3 件，照会后掲載可 3 件，修正依頼 17 件，返却 4 件であった。また，4 件の New Technology につき審査報告があり，修正依頼 4 件であった。

共同研究会

第69回製鉄部会 開催日：10月29～31日。開催地：中山・合同大阪コロナホテル。出席者：飯塚部会長，ほか 125 名。

講演 2 件のほか，共通議題 12 件，自由議題 9 件につき，発表ならびに討議を行った。

講演及び共通議題のテーマは次のとおり，講演

1) 高炉メーカーに於ける今後の製鉄部門の役割

新日鉄君津 製鉄部 阿部幸弘部長

2) 鑄鉄鑄物技術の現状と今後の動向

近畿大学 工学部 中村幸吉教授

共通議題

高炉における微粉炭吹込み操業について

なお最後に，中山，合鉄と分かれ見学を実施した。

第33回コークス部会 開催日：11月13, 14日。開催地：三菱化成(株)坂出。出席者：石川部会長，ほか 134 名。

1) 昭和 57 年以降，新規炭及び非微粘結炭の増加，更には，CDQ 設置等によつてコークス製造条件が変化しており，それに伴う最近のコークス品質管理の考え方を中心に，次の事項の発表及び質疑応答を行った。

(i) 共通議題テーマ 11 件

最近の配合炭性状とコークス品質管理の現状と課題について

(ii) 自由議題テーマ 4 件

CDQ 設備の改善とその考え方

(iii) その他テーマ 4 件

2) 工場見学

三菱化成(株)坂出工場 コークス工場。菱化軽金属(株)電解工場。

第95回製鋼部会 開催日：11月6, 7日。開催地：住金・小倉。出席者：甲谷部会長，ほか 111 名。

1. 研究発表

(1) 重点テーマ「製鋼工場における労働生産性向上策について」9 件

座長：日新・呉・製鋼部長・塩谷氏

(2) 自由テーマ 12 件

2. 特別講演

(1) 「小倉製鉄所における製鋼技術の現状」

住金・小倉・製鋼部長・水谷氏

(2) 「光計測を中心とした最新の計測技術」

理化研・山口氏（計測制御部会紹介）

3. 工場見学 住金・小倉

第82回鋼中非金属介在物分析小委員会 開催日：10月16日。開催地：神鋼・箱根。出席者：成田委員長，ほか 17 名。

1. 鋼中酸化物系介在物の抽出分離定量法に関する研究

(1) 第 10 回共同実験に関する自発検討結果の報告 2 件

(2) 第 10 回共同実験結果の報告と審議

2. 今後の活動について

今回の会議を最後に，これまでの活動成果を今年度中にまとめあげ，当小委員会の研究活動を終了し解散することとなった。

特定基礎研究会

第4回電磁気冶金の基礎研究部会 開催日：10月13日。出席者：浅井部会長，ほか 18 名。

1. 研究発表 5 件

(1) 減圧下におけるプラズマアーク特性

(2) 熔融フィルムの落下挙動

(3) 電磁力による形状制御に関する基礎検討

(4) 熔融金属の表面波動に及ぼす直流磁束勾配の効果

(5) 薄板の水平式電磁鑄造

2. 文献抄録の紹介 11 件

3. その他

第2回鉄鋼の結晶粒超微細化部会 開催日：10月31日。出席者：徳永部会長，ほか 20 名。

1. 研究発表 5 件

(1) 結晶粒径の測定法とそれに関する諸式

(2) 低炭素鋼・中炭素鋼の加工熱処理によるオーステナイト結晶粒超微細化

(3) 制御圧延-制御冷却による低合金鋼の結晶粒微細化

(4) 低炭素鋼の大圧下熱間加工による超微細粒フェライト組織の生成

(5) 金属粉末の製造法—鉄系，急冷凝固，微粉を中心—

2. その他

鉄鋼技術情報センター

第48回センター編集委員会 開催日：10月30,31日。
開催地：川崎製鐵(株)水島製鉄所。出席者：新日鐵近江品、ほか8名。

1. 「鉄鋼技術総覧」への鉄鋼技術情報センター活動状況の掲載

2. 「鉄鋼技術総覧」発行経費の削減

3. 現場技術者との懇談会

第23回情報検索委員会 開催日：11月5日。出席者：梅田委員長、ほか13名。

1. 前回の議事報告及び、他委員会の動き紹介

2. BDB 共同実験関係報告

3. S61 年前半の活動状況報告及び、後半62年度の活動計画

4. S62 年度予算の検討

5. ビジネスデータベースに関する報告

6. その他

情報検索委員会第6回 BDB 共同実験 WG 開催日：11月5日。出席者：加畑委員、ほか11名。

1. Part I のまとめ進行状況報告

2. Part II の実験結果の提示・検討

図書資料委員会第16回 WG2 開催日：11月7日。出席者：西垣チーフ、ほか11名。

1. 鉄共研資料索引(含抄録)の入力原稿の作成について

2. その他

情報管理共同研究会

第5回光ディスク利用研究分科会 開催日：10月30日。出席者：野田益弘主査、ほか6名。

鉄鋼大手五社の技術部門で光ディスクを利用している部署にアンケート調査を実施し、アンケート回答のまとめを行った。

国際会議

加工熱処理の物理冶金に関する国際会議

第4回実行委員会 開催日：11月6日。出席者：田村今男実行委員長、ほか16名。

1. First Circular の配布状況およびその反応、Opening lecture 3件と Keynote lecture 12件の講師の決定などについての報告がされた。

2. Second Circular 案が承認された。Circular は12月より配布される予定。

3. その他、会議予算、論文審査などに関して意見交換が行われた。

4. 会議終了後、幹事の打合せが行われた。

図書案内

最近のアーケ炉製鋼法の進歩(改訂版)

共同研究会電気炉部会編

日本鉄鋼協会 発行

A4判 245頁 定価 会員 4,500円(送料別)

非会員 5,500円(送料別)

1975年以来、全粗鋼生産量が停滞するなかで、電気炉鋼比率は着実な伸びを示し、1985年には約30%に達しています。このことは、スクラップの安定供給に加えて、電気炉製鋼技術の進歩に負うところがきわめて大きいものと思われます。

電気炉部会に発表された技術改善事例を中心に1981年6月に発行された初版は、内外の現場技術者を中心に好評を博しました。

今度、その後5年間に開発された新しい技術を集大成し、内容を充実した改訂版を発行する運びとなりました。さらに本書には、本年2月の電気炉部会メンバーによる欧州調査団報告も添付されており、日夜、電気炉製鋼技術の向上に携わる技術者が、現状を認識し今後を考える上で大いに役立つものと考えております。是非ご利用下さいように御案内いたします。

(内容)

1. 日本のアーケ炉製鋼法の概況、2. アーク炉の大型化及びUHP操業、3. 酸素富化と粉体吹込み技術、4. 炉内精錬、5. 炉外精錬、6. 連続鑄造法、7. 原料、8. アーク炉排熱によるスクラップ予熱、9. 電極、10. アーク炉の水冷化、11. 集じん装置、12. アーク炉作業の機械化、自動化、13. アーク炉関係新技術、参考資料・欧州(独仏)アーク炉製鋼技術調査団報告書

申込方法

次のいずれかの方法でご送金願います。

・現金書留、・郵便振替(東京7-193番)

・銀行振込(第一勧業銀行・東京中央支店(普)No. 1167361)

問い合わせ先 〒100 東京都千代田区大手町1-9-4

経団連会館3階 日本鉄鋼協会庶務課 水野

電話 (03) 279-6021